

④新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

## 糖置換技術の応用による福島県産「ぎんなん」「ミニトマト」等の農産物商品化による地域活性化事業

福島県産「ぎんなん」「ミニトマト」等を使った糖置換製品(甘納豆・餡・きんとん)を開発、新たな地域ブランド品として販路拡大を行う。

➤ **連携体**  
農林漁業者 **JAみちのく安達 (農業)**

ぎんなん、ミニトマト糖置換製品の原料生産から製品製造までの一貫した生産計画の仕組みを構築。さらに加工に適した、ぎんなんのサイズ選別、ミニトマトの品種研究・未利用品の活用方法の研究を行う。

中小企業者 **(株)つかもと (その他のパン・菓子製造業)**

既存糖置換技術を活用して、これまでに商品化されていない、ぎんなん、ミニトマトの商品企画・製造・販売を行う。

連携参加者 **相模女子大学**

商品企画、マーケティングを支援する。

サポート機関等 **(公財)茨城県中小企業振興公社、茨城県商工会連合会、(独)中小企業基盤整備機構関東本部**

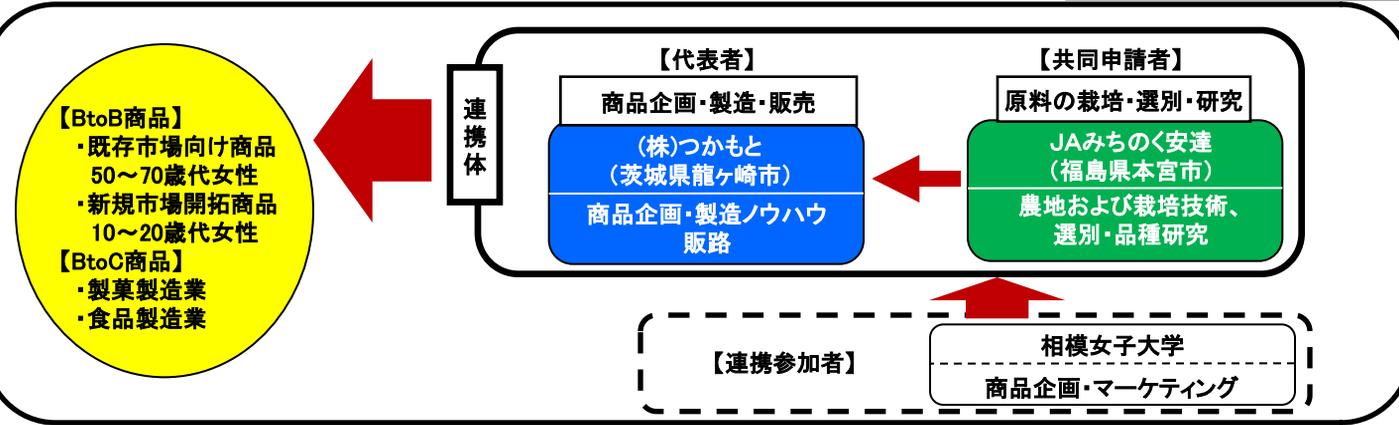
➤ **連携の経緯**

既存顧客から新しい素材の糖置換製品の要望が高まるなか、(株)つかもとはこれまでに商品化されていない新しい素材を探していた。一方、JAみちのく安達は、原発事故風評被害により地域農産物の売上が低迷しており、改善策を模索していたなか、両者の思惑が合致し、連携に至った。



➤ **連携に当たっての課題や工夫等**

中小企業者と農業者の有機的連携により、原料生産から製品製造までの一貫した生産計画の仕組みを構築。さらに、各商品あった原料の選別、品種の研究、未利用品活用の研究を行い、中小企業者の実績ある商品企画力、糖置換技術により、甘納豆(BtoC)と餡・きんとん(BtoB)の市場ニーズにあった新商品を開発していく。



➤ **連携による効果**

農林漁業者

5年で4,374万円の売上高増加、ぎんなん、ミニトマトの生産拡大と安定化

原料生産から製品製造の生産計画の仕組みの構築により、売上拡大、収益安定化に貢献すると期待される。

中小企業者

5年で6,591万円の売上高増加、既存市場強化と新規市場開拓

既存市場への商品力強化、新規市場開拓を図ることにより売上拡大と更なるブランド力の向上の改善が期待される。

➤ **代表企業等の連絡先**

企業等名：株式会社つかもと  
TEL：0297-62-0375  
E-mail：suzuki@ama710.com

所在地：茨城県龍ヶ崎市光順田1816  
FAX：0297-64-1357  
ホームページ：http://www.ama710.com/